

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

平成 年 月 日

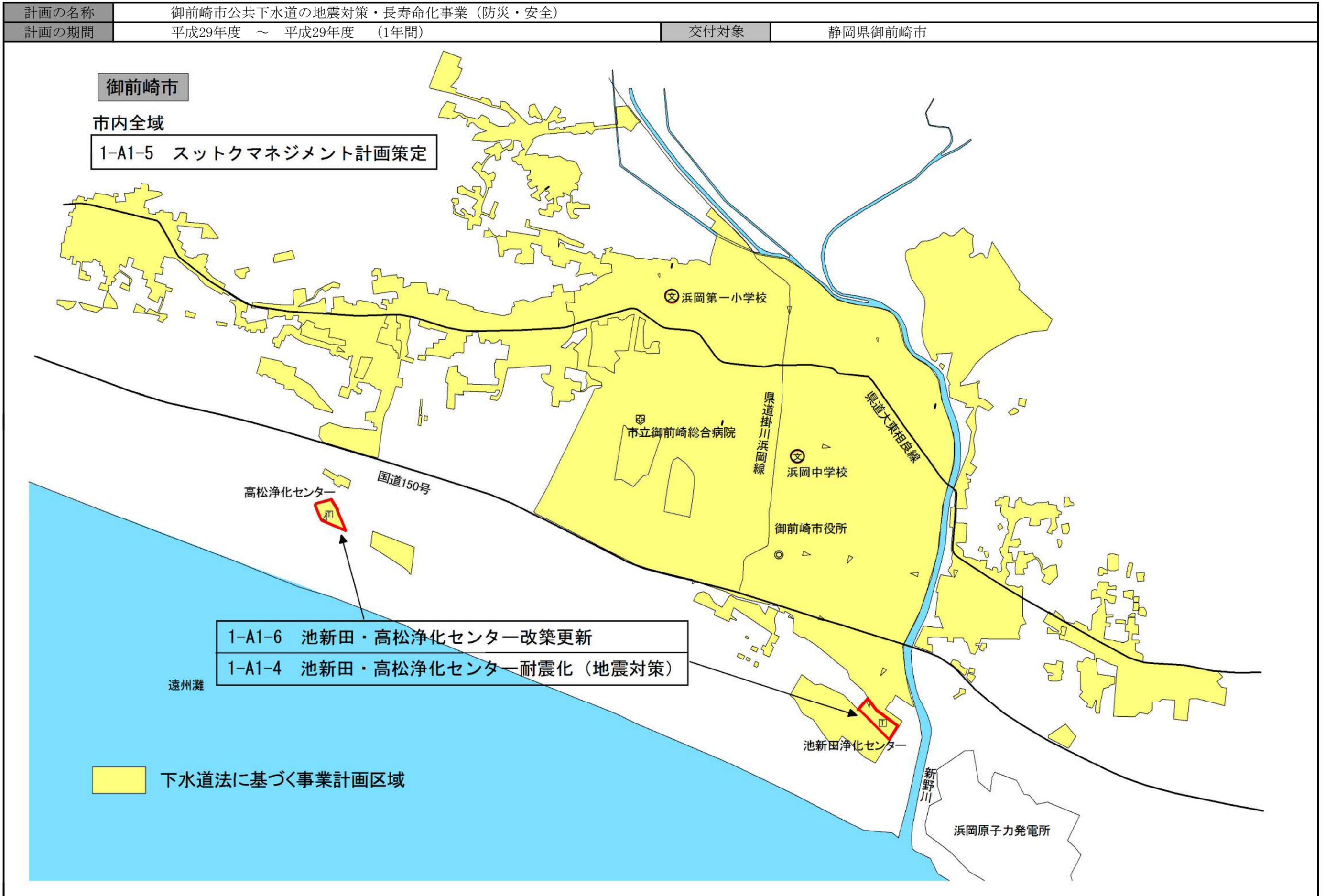
計画の名称	御前崎市公共下水道の地震対策・長寿命化事業 (防災・安全)						重点配分対象の該当					
計画の期間	平成29年度 ~ 平成29年度 (1年間)		交付対象	静岡県御前崎市								
計画の目標	地震時において下水道が有すべき機能の必要性や緊急性から、緊急的に耐震性の向上を図るべき施設について耐震化を実施することにより、下水道としての基本的機能の確保を図る。長寿命化対策を実施することにより、施設の延命化及びライフサイクルコストの削減を図る。											
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・処理場の耐震化率を0%(H29当初)から100%(H29末)に増加。 ・施設の長寿命化率を0%(H29当初)から100%(H29末)に増加。 ・ストックマネジメント計画を策定する。 											
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値	備考				
							当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)			
	処理場施設で耐震性能を有する施設の割合 処理場の耐震化率 (%) = (耐震性能を有する施設数) / (処理場施設数)						0%	-	100%			
	長寿命化計画による改築・更新を実施した割合 施設の長寿命化率 (%) = (改築・更新済み施設数) / (改築・更新対象施設数)						0%	-	100%			
全体事業費	合計 (A+C+D)	149百万円	A	149百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%

A1 下水道事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
										H29	H30	H31	H32	H33				
1-A1-4	下水道	一般	静岡県	直接	御前崎市	水処理汚泥処理	池新田・高松浄化センター耐震化 (地震対策)	耐震診断・耐震化	御前崎市						51		-	
1-A1-5	下水道	一般	静岡県	直接	御前崎市	汚水	ストックマネジメント計画策定	ストックマネジメント計画	御前崎市						38		-	
1-A1-6	下水道	一般	静岡県	直接	御前崎市	水処理汚泥処理	池新田・高松浄化センター改築・更新	電気設備・機械設備	御前崎市						60		策定済	長寿命化計画
										小計 (下水道事業)					149		-	
										合計					149		-	

C 効果促進事業																
C1 下水道事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H29	H30	H31	H32	H33		
										小計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H29	H30	H31	H32	H33			
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 御前崎市公共下水道の地震対策・長寿命化事業(防災・安全)

事業主体名: 御前崎市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との適合等	
1)上位計画等と整合性が確保されている。	
御前崎市下水道総合地震対策計画	○
御前崎市下水道長寿命化計画	○
②地域の課題を踏まえた目標となっている	○
③緊急性の高い課題に取り組む内容となっている	○
④地域防災計画の目標の適合性	
1)地域防災計画での防災・減災対策等、目標達成の可能性が高い。	○
2)防災拠点・避難所としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
⑥事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境	
1)緊急輸送路・避難路の位置付けが図られている。	○
2)広域避難所での整備を行う場合、その必要性が高い。	○
3)施設台帳整備が整っている。	○
⑧地元の機運	
1)地域でのハザードマップの作成が図られている。	○